

早稲田アカデミー	4年		
	算数		
学習内容	5月の学習内容 10回『総合』 11回『三角形の面積』 12回『間の数を考える問題』 13回『周期を考える問題』 (14回『等差数列』 15回『総合』)		
家庭学習ポイント	10回では6回から9回までの復習です。小数、単位、分数については総合回で確実に理解を深めます。11回では「三角形の面積」を扱います。底辺、高さの関係をセットで理解することが大切で、高さが三角形の中にある場合については注意が必要です。底辺と高さが垂直の関係にある事を、この回で確実に理解しましょう。12回では「間の数を考える問題」を扱います。いわゆる植木算ですね。両端に植える、両端に植えない、丸く植える、以上の4種類を整理して学習を進めましょう。丸暗記が進めると5年生、6年生で何度やっても間違え苦手単元になる可能性があります。描いて理解するという習慣をしっかりとつけましょう。13回では「周期を考える問題」です。まずは決まりを見つけ出すことを基本行動に、図形を作るときの周期や、日歴算のような7日刻みの周期など、特徴のある周期算を学びます。入試問題でも良くある、まず書き出してみたら周期に気付く、という基本を学びますので、面倒くさがらず作業を身につけましょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	計算のルールを正しく把握していますか？	チェック
	解決策	小数、分数の計算、単位の計算などは結局ルール通りで正解できます。ルールを把握しましょう	□
	チェック2	三角形から底辺と高さを見つけ出せますか？	チェック
	解決策	底辺と高さは垂直の関係にあります。補助線の引き方も工夫しましょう	□
	チェック3	「植木算は-1・+1」のような丸暗記をしていませんか？	チェック
	解決策	問題に与えられた条件次第で間の数は変わります。丸暗記ではなく条件を整理しましょう	□
	チェック4	植木算を上手く使った解き方ができますか？	チェック
	解決策	10分計算して5分休む→10分のかたまり、間はいくつあるかと考えましょう	□
	チェック5	書くことを面倒くさがっていませんか？	チェック
	解決策	周期の問題は途中まで書くことで周期に気付くことが良くあり、入試問題にも多いケースです	□
早稲田アカデミー	4年		
	国語		
学習内容	5月の学習内容 10回 総合 11回 物語・小説/人の気持ち 12回 物語・小説/人の気持ち 13回 説明文・論説文/形式段落と意味段落 (14回 明文・論説文(6)/形式段落と意味段落③文を読む④一けて〈関係〉を考える/対義語) (15回 総合)		
家庭学習ポイント	10回は6回～9回の復習です。11回以降に繰り返して定着を図りますから、特に語彙、慣用句などの復習は積極的に行いましょう。11回では物語文を通じて登場人物の心情を読み取ります。主語述語の関係、和語についても学びます。感情を表す言葉や表現にも注目しましょう。12回も引き続き物語文です。場面の变化や登場人物の言動などから、その心情を読み取ります。修飾語やかかり受けについて学びます。語彙や知識においては、ことわざについてもその背景も含めて学び身につけましょう。13回では主語、述語、修飾語についての復習もかねた題材を扱います。また、形式段落を結び接続語にも注目し、内容について類推ができるようにトレーニングを続けましょう。類義語についても学びます。		
課題の把握と解決策	チェック1	語彙、語句の知識は身につけていますか？	チェック
	解決策	丸暗記に偏るとテストの時に使えません。背景の知識も同時に学ぶようにしましょう	□
	チェック2	主語、述語の関係を正しく見破ることが出来ますか？	チェック
	解決策	主語の省略、複数の主語など文章にはいろんなパターンがあります。たくさん読みましょう	□
	チェック3	いろんな言葉に含まれる感情を知っていますか？	チェック
	解決策	ネガティブ、ポジティブに切り分けて言葉にまつわる感情を整理しておきましょう	□
	チェック4	形式段落の接続、段落の冒頭の語句に注目できていますか？	チェック
	解決策	形式段落がどんな言葉で始まるのか注目してみましょう。内容を類推してみましょう。	□
	チェック5	漢字をきちんと演習できていますか？	チェック
	解決策	漢字の演習は実際にその漢字を使って初めて身につきます。例文とともに理解しましょう	□

早稲田アカデミー	4年		
	理科		
学習内容	5月の学習内容 10回 総合 11回 植物の成長 12回 植物のつくりとはたらき 13回 身のまわりの空気と水 (14回 金属 15回 総合)		
家庭学習ポイント	10回は復習です。太陽の知識、水の状態変化、光の性質は5年生以降も土台となる知識ですので、このタイミングで身につけてしまいましょう。11回では植物の種子の発芽、成長、開花、結実について学びます。種子で増える植物、地下茎や球根のような体の一部から増える植物など、覚えることが多い単元です。丸暗記にせず、実物を手に取るなど体験を通じて覚えるようにしましょう。12回は植物の各部位のつくりと働きから分類を行います。この単元も覚えることが多いのですが、仕組みを理解できることで丸暗記をせず覚えられる所も多い単元です。光合成、呼吸、蒸散といった植物のはたらきも、使うものや作り出すものに注目して理解しましょう。光合成、呼吸、蒸散についての実験も頻出ですから、丸暗記にならないよう、意味や目的を正しく理解しておきましょう。13回は水や空気について学びます。重さ、体積が温度によって変化するのか、特に温度変化による体積変化についてや、あたためられた際になぜ対流が起こるのか、といった知識とその裏付けについて学びましょう。空気の成分などの暗記も大切です。		
課題の把握と解決策	チェック1	総合回での学習で過去の仕上げができていますか？	チェック
	解決策	ピンポイントで復習が出来るチャンスです。過去単元をしっかりと見直しましょう	□
	チェック2	種子の成長、変化について説明できますか？	チェック
	解決策	発芽の条件や、発芽した後どんな成長をするのかまとめておきましょう	□
	チェック3	呼吸と光合成の違いをわかっていますか？	チェック
	解決策	エネルギーを得て行う呼吸、行うことでエネルギーができる光合成、全く逆のはたらきです	□
	チェック4	実験の意味や必要な条件を知っていますか？	チェック
	解決策	呼吸、光合成、蒸散などの比較対象実験について、比べる条件は何かを意識して取り組みましょう	□
	チェック5	対流の原理を説明できますか？	チェック
	解決策	暖められると軽くなる＝体積が大きくなることで密度が小さくなることを説明できればOKです	□
早稲田アカデミー	4年		
	社会		
学習内容	5月の学習内容 10回 総合 11回 寒さのきびしい地方の暮らし 12回 雪の多い地方の暮らし 13回 冬に晴れる日の多い地方の暮らし (14回 雨の少ない地方の暮らし 15回 総合)		
家庭学習ポイント	第10回は総合回。6～9回の復習となります。特に地図の味方に関しては今後の地理の学習、さらに入試にも直結するのでしっかり復習しておきましょう。11回の話題の中心は、北海道の十勝平野です。十勝の作物の種類、地質、防風林、酪農と乳牛、牛乳、帯広の気温と降水量、夏の濃霧などについて学習します。十勝平野は火山灰を多く含む土壌で稲作には向かないこと、濃霧による冷害などについて抑えておきましょう。12回は雪の多い地域、日本海側にある新潟県十日町市の特徴について学習します。まずは日本海側の地域で雪が降る仕組みについて理解を深めておきましょう。また雪の多い地方の生活の工夫として、雪おろしや除雪についての話題も多く登場します。13回は12回とは逆に、冬に晴天が多い太平洋側の地域についてです。具体的には高知平野の気候と地理的特徴に基づいた野菜の促成栽培の利点や問題点について、整理して覚えておきましょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	地図を見る基本技能が身についていますか？	チェック
	解決策	用途別に地図を便利に使うことを考え、縮尺の換算にも取り組んでみましょう	□
	チェック2	北海道について、知っていることは何ですか？	チェック
	解決策	北海道は、要は○○なところ、と説明できるくらいまでまとめて理解を深めておきましょう	□
	チェック3	新潟県が冬に雪が多い理由を仕組みから説明できますか？	チェック
	解決策	地形と季節風の2つの面から「フェーン現象」を解説できるといいですね	□
	チェック4	高知県で野菜の促成栽培が盛んな理由と問題点を説明できますか？	チェック
	解決策	温暖で夏でも日照時間が長いこと、大量消費地が本州にあることなどを押さえておきましょう	□
	チェック5	本四連絡橋3つの名前を答えられますか？	チェック
	解決策	瀬戸大橋、明石海峡大橋、瀬戸内しまなみ海道の3つです	□